

むらやま 議会だより



写真／アートチャイルドケア村山しょうよう保育園卒園式にて

もくじ

- ◎ 3月定例会…………… P 2～3
- ◎ 予算特別委員会、1月臨時会、3月補正予算… P 4～5
- ◎ 一般質問、政務活動費収支報告…………… P6～11
- ◎ 議会活動レポート…………… P12～13
- ◎ 市民の声…………… P14



←携帯からはコチラ

3月
定例会

リア開発と中心市街地の再生等に

0万円
9万円

を可決

令 和3年第2回定例会は3月2日から3月19日までの会期で開催され、新年度予算などを審議しました。

一般会計では、**☺**子育てスマイルプロジェクト、村山駅周辺エリアの開発と中心市街地の再生、新型コロナウイルス感染症対策、にぎわい創造活性化施設（Link MURA YAMA）整備事業、河川浚渫・大旦川内水対策事業など144億3千万円（対前年比9.0%増）となりました。

新年度予算のほか、条例の一部改正など11件、補正予算8件が提案され、新年度予算8件は予算特別委員会に付託し、全議案原案のとおり可決、閉会しました。



予定されている駅西にぎわい交流拠点

条例等

◎村山市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、引用条文の整理を行うものです。

◎村山市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

子育て支援医療給付事業における入院療養費の支給対象年齢を18歳まで拡大するものです。

◎村山市介護保険条例の一部を改正する条例

第8期介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料の見直しを行うものです。

◎村山市指定地域密着型サービスの事業に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴い、関係条例について所要の改正を行うものです。

◎村山市道路占用料条例の一部を改正する条例

道路法施行令の一部改正に伴い、市道の道路占用料を国に準じて改正するものです。

◎村山市火災予防条例の一部を改正する条例

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、急速充電設備に係る規定について所要の改正を行うものです。

◎村山市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例

勤労青少年ホームの施設老朽化及び利用者の

😊 子育てスマイルプロジェクト／村山駅周辺工

新年度
一般会計予算

144億3,000

特別会計予算

89億2,160

新年度の主な事業

○駅西開発に伴う道路・環境整備事業	5,800万円
○にぎわい創造活性化施設（Link MURAYAMA）整備事業	4億8,406万円
○地方創生テレワーク推進事業	5,260万円
○楯岡まちなか再生整備事業	4億5,845万円
○幼児教育・保育施設副食費免除事業	265万円
○子育て支援医療給付事業	8,678万円
○中小企業緊急経済支援事業	2億4,370万円
○新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億6,000万円
○河川 ^{しんせつ} 浚渫事業	1,995万円
○大旦川内水対策事業	5,078万円
○河西エリア地域づくり推進事業	50万円



拡張予定の市道本郷通り線

減少に伴い、当該施設を廃止するためのものです。

◎和解及び損害賠償の額を定めること

令和2年7月豪雨の影響により発生した、市有地からの土砂、立木流出による農業用施設に及ぼした損害について、和解し、損害賠償の額を決定するものです（金額 2032万8664円）

◎市道路線の認定及び廃止について

市道の整備及び地域の生活道としての利便性向上を図るためのものです。

- ・認定路線（中町4号線、東沢住宅団地5号線、千刈団地4号線、五日町太神宮南線、八反水源路線、河島南線）
- ・廃止路線（八反水源路線）

◎字の区域及び名称の変更について

西郷名取地区の県営土地改良事業の結果、土地の区画等が変化し、従来からの字の区域及び名称を存置することに不都合が生じるため変更するものです。

人事案件

◎人権擁護委員候補者の推薦について

令和3年6月30日に任期が満了するので再度推薦するためのものです。
芦野 富士子氏（大久保）

請願

◎「安心・安全で、ゆきとどいた教育の実現につながる30人学級」の実現を求める請願

国に対して「安心・安全で、ゆきとどいた教育の実現につながる30人学級」を速やかに実現することを求める意見書の提出をお願いするものです。

（賛成多数で継続審査）

令和3年度 予算特別委員会



海老名幸司
予算特別委員長

本委員会は、全体会、各分科会において、慎重に審査を行ったところであります。

現在、国内の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、停滞を余儀なくされております。また、本市において、7月の豪雨、12月の豪雪など多くの災害により、非常に厳しい財政状況であります。このような中でも「市民第一」である行政の姿を追求しながら、質の高い行政サービスを提供することが重要であるとの議論がされました。

多様なニーズに即応し、支援を拡充した「子育てスマイルプロジェクト」及び、村山駅周辺エリア開発や来春にオープンが予定されている「Link MURAYAMA」整備事業など中心市街地再生に重点的に予算が配分され、「持続可能な村山市」を目指す予算編成であると感じます。

一方でコロナ禍により経済支援が必要とされる中、歳入の減少が見込まれており、適時、適切な予算執行が行われるよう要望し、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

活かせ 議員の指摘

総務文教分科会

●自治体のデジタル化については、積極的に推進すべきだが、専門的な知識が必要となる分野のため、多くの研修を実施し、時代に即した人材育成に努めるよう要望する。

●村山駅東西エリア開発やにぎわい活性化施設整備など、本市活性化に向けた取り組みを期待する。コロナ禍の中、駅西エリアの企業誘致については困難な状況と思われるが、積極的な誘致活動を要望する。

●生活交通対策については、料金体系、利便性を含め全体的に見直し、将来にわたり持続可能な事業となるよう要望する。

●空家家に対する固定資産税課税については、税に対する不正確な情報により、家屋を取り壊さないで放置している空き家がある。危険な空き家を生じさせないよう、関係課と連携し、取り壊しを促すよう要望する。

●豪雨・豪雪災害により、本市の農業は甚大な被害を受けている。被災された農家が離農しないように、また遊休農地を増やさぬように寄り添った活動を要望する。

1月 臨時議会

一般会計予算
総額

**3億409万円を追加し、
192億4,182万円**

補正予算のポイント

今回の補正予算は新型コロナウイルス感染症拡大、豪雪などに伴うものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業に
1億3692万円

接種券発送事務や接種委託料に伴うものです。



コロナワクチン集団接種模擬訓練

緊急経済支援事業に
1410万円

- ① 飲食事業者へ11月～1月売上高減少の割合に応じ、上限40万円
- ② 旅行代理店20万円
- ③ タクシー事業者10万円
- + (1台当り1万円)
- ④ 宿泊事業者10万円 + 10万円(客室5室以上)
- ⑤ 舟下り事業者10万円

道路除排雪経費に

1億円

豪雪に伴い除雪費用が足りなくなったことで、追加するものです。
公共施設除排雪経費に
1626万円

公共施設の雪下ろしに伴い追加するものです。
除雪扶助費に
3320万円

豪雪対策本部会議を設置したことに伴い、3万円から7万円に引き上げられたことにより追加するものです。
その他除排雪関係に
360万円

除排雪報奨金に160万円、小型除雪機購入が多いことから40台分(1台5万円)追加することで200万円を追加するものです。



市道除雪作業の様子

3月 補正予算

一般会計予算
総額

**3億8,479万円を追加し、
196億2,661万円**

補正予算のポイント

今回の補正予算は新型コロナウイルス感染症拡大、除排雪などに伴うものです。

緊急経済対策事業に
4910万円

- ① 飲食業等を除く全業種(農業含む)売り上げ減の30%支援(上限40万円)
- ② 新生活様式対応支援金、全業種対象、空気清浄機、飛沫防止パーティション等事業費の1/2補助(上限10万円)
- ③ 雇用調整助成金申請支援金 全業種1事業者5万円または10万円支援
- 今こそ地元! 応援商品券事業第2弾に

8977万円
市民一人に3000



今こそ地元! 応援商品券2

円の商品券。75歳以上生活保護受給世帯、ひとり親世帯に3000円追加。(利用期限6月末予定)

お宿でゆったりプレミアム事業シーズン3プレミアム券発行事業に
3000万円

2000円のプレミアム券を1万5000枚発行。(利用期間4月18日～7月25日予定)
除雪委託料に
2500万円

雪捨て場、雪押し場などの排雪、運搬委託料の増加による追加。



農道除雪作業の様子

新型コロナウイルスワクチン接種事業に
3514万円

接種支援委託料、職員時間外手当、需用費など、事務費の増による追加。



吉田 創

村山駅東沢線の市としての

取り組みは

答弁 再開発に取り組み

新たな係を創設する

Q 都市計画道路、村山駅東沢線は山形県の事業だが、概要と今後のスケジュールについて伺う。

A にぎわいと活気あるまちづくりのため大変重要な路線である。駅前十字路から本郷通り線の交差点まで

総延長385m、幅員は全幅で18m、事業期間は令和2年度から令和8年度、事業費は13億円を見込んでいる。また新設する歩道は景観や災害に配慮して、電線地中化と、歩行者の安全のため無散水消雪を検討している。

Q 現在の11m道路から両側に3.5mずつ広がり、18m道路に広がる。しかし、現在の道路沿道には、飲食店、小売店、美容室、住宅、駐車場がある。道路は山形県の事

業だが、まちづくりは市と一緒に、住宅、店舗、駐車場などを含めた再開発をしなければならぬと考える。市としての取り組みと方針を伺う。

A 拡幅により店舗などに影響が出る方も、継続できることが望ましい。新しいテナントが出来ることをお願いしたい。新たなテナントが出来ることで、現在営業している方、若い方、新たに入りやすい方が、入りやす



再開発が期待される村山駅東沢線

い環境になる。また再開発に適した場所を検討しており、4月から再開発に取り組み新しい係を創設する。

その他の質問

- ・アグリランド事業について
- ・若者支援について



細矢 清隆

電磁波過敏症は

身体に影響はないのか

答弁 今のところ問題ないと考えている

Q GIGAスクール構想によりICT環境の整備が進められているが電磁波過敏症により身体に影響を与えないか。

A 電磁波については、電波法により規制されている。また、WHOの報告によると科学的根拠がない。以上の2点より今のところ問題ないと考えている。

Q 第7期介護保険事業計画の評価について。

A 計画どおり進んでいるが3点について評価できるのではないかと。①給付費の適正化が図られた。②自立支援、介護予防、重度化防止などの取り組みができた。③住みなれた地域での生活環境の継続ができた。課題は、①人材確保の必要性がある。②非

常時にも、安定して継続したサービスを提供する体制をとること。

Q 第7期の課題を第8期介護保険事業計画にどのように反映させるのか。

A ①共生、予防、地域づくりを基本として、国の施策を取り入れて実施する。

②質の高いマネジメントと環境作りを取り組む。③現場の人材確保(再就職、レバレッジアップのための資金の融資など)、ICTやロボットの活用。④災害や感

感染症対策の体制整備などを反映させる。その他の質問

- ・スポーツ振興について



介護予防のための予防体操

※GIGAスクール構想:1人1端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する



結城 正

最上川治水対策の推進を

答弁 早期完成を目指す

Q 大旦川における調節池・堤防の整備などについて「防災・減災対策等強化事業推進費」を受けることが決定した。

また、大久保第1、第2遊水地、長島の堤防整備、大淀分水路整備についても「最上川中流・下流緊急治水対策プロジェクト」の原案が示され、昨年7月と同規模の記録的な洪水が発生しても、浸水被害が抑えられるように防災対策の強化を図ることが決定した。

地元への説明を十分に行い、早期に完成するように努力されたい。
A 大旦川関係については、令和3年度から着工し、1、2年で完成見込みである。最上川関係については、早期に着工し完成を目指す。

Q 会計年度任用職員制度は、制度施行から一年を経過しようとしている。

「地方公務員法の厳格適用」「同一労働同一賃金」「処遇の改善」など、十分な改善がなされず、低賃金・不安

定雇用が常態化している。早急な改善を検討されたい。

A 低賃金・不安定雇用の実態にあることは、認識している。改善にむけ努力していく。



雪どけ水で増水した最上川（大旦川水門付近）



高橋菜穂子

子どもの「弱視」の

早期発見のための健診を

答弁 方法を検討し、実施したい

Q 子どもの弱視は50人にひとりの割合であるが、4歳までに治療を開始することで95%が改善するという報告もある。子どもの視力に関する健診の実施状況は。

A 本市では、法定健診として3歳児健診時に、自宅で行う視力検査、自宅で検査ができなかった場合や問診で異常がある際には専門医へ紹介し、精密検査を勧めている。

Q 3歳児健診での見逃しが多いことが指摘されるのが弱視であり、保護者も異常に気が付きにくい。そこで持ち運びが容易で、のぞき込むだけで判定が可能なスポットビジョンスクリーナーを3歳児健診に導入し、弱視の早期発見の取り組みをしていただきたい。

戸沢保育園で市内の小児科と協力しスポットビジョンスクリーナーによる検査を実施した結果、有効性が確認されている。戸沢保育園のように専門医と相談して見逃しのないような検査を実施してほしい。

A 実施に向けて検討したい。

Q 合わせて、小学生の視力低下が著しいので、スマートフォンなどが与える影響についても啓発に取り組んでいただくよう要望する。

その他の質問
行政デジタル化について
・小学校の適正配置について



スポットビジョンスクリーナーによる検査の様子

一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



阿部 正任

コロナ禍や豪雪、市民への影響は

答弁 支援に力を入れる

Q 昨春の長期休校や学校行事の縮小、生活面でも自粛や制約が相次ぎ、子どもたちの心にも「禍」をもたらし、心理的に不安定になった子どもはいないか。また、休校による学習の遅れは取り戻せたのか。

A 子どもたちも必死に頑張っている。コロナ禍の影響で不登校になった子は現在いない。校長をはじめ先生方の配慮、工夫で学習の時数確保もできた。コロナ禍以前の状況に早く近づけ、地域の方々にも学校へ足を向けてほしい。

Q 高齢者世帯への除雪支援として、社会福祉協議会による「雪どけ隊」や市でも除雪費を支援するすばらしい事業がある。65歳以上の非課税世帯な

どの要件があるが、要件緩和と母子世帯への適用など、もつと多くの人に支援できるようにしてはどうか。

A 高齢者への除雪支援金、要件の緩和となると線引きが難しく、非課税世帯にしている。母子世帯への支援は検討してみる。



高齢者のため活躍する雪どけ隊

Q コロナ禍、豪雪で弱い立場の人ほど心配ごと、困りごとを伝えられずにいる。「困りごと聞きます係」を設けてはどうか。

A 結局のところ、解決出来るのは専門的な係になってしまう。その他の質問
・消防広域化について



犬飼 司

「GIGAスクール構想」の整備状況は

答弁 市内小中学校の端末、無線LANの設置完了

Q すべての児童生徒に、「一人一台端末」などのICT環境を整備する「GIGAスクール構想」について伺う。

A 端末、無線LAN、貸し出し用モバイルルーター123台を整備している。ルーターはインターネット環境が整っていない家庭に無償で貸し出すことになる。国の就学援助対象家庭と対象外でも未整備の家庭(期間限定)とする。

Q 端末は持ち帰り、家庭でも活用してほしいが、長期休み中は考えていない。必要があれば考えていく。

A 教員の働き方改革について伺う。

Q 月平均の超過勤務実態は、高い数値で小学校が56・5時間、中学校で46・2時間と

なっている。改善策は、学校規模に合わせた学習サポーターの配置、客観的な時間管理、会議時間の短縮、ICTを活かしていく研究、超過勤務が多い職員には面談や指導をしていく。

Q 志布市政8年間の総括について伺う。

A 特に人口減少問題に取り組んでいるが、いったん人口減少に向かった方向を止めるには容易でない。

Q 転出者に他市でも行っている様なアンケートを実施してはどうか。

A 動向を見て検討してみる。



GIGAスクールによって学校に整備された機器



高橋 卯任

地区ごとの除雪体制の構築に注力

答弁 住民みんなで

取り組む方向になれば良い

Q 市と県の除雪スタンスが違うため、除雪に差が生じている。特に、県道に隣接している場所に問題があるが、その差をどう考えているか。

A 過去に、県と協議したが、村山市だけを特別扱いした対応はできないとの回答だった。

Q 問題のある場所が、県道だとしても、市で対処できないか。

A 市内には、県道と市道が交差する場所が多数あり、これまでその場所への対処はしていない。状況を確認し検討するが、県道への対処は難しい。

Q 除雪費は、市長就任時と比べて、1.5から2倍くらいに増えているとの事だが、今後は除雪費の増額だけでなく、市民を巻き込

んだ地区ごとの除雪体制の構築に注力すべきではないか。

A 市内のいくつかの地区で、地区での除雪体制を作り、取り組まれているところがある。その取り組みに対して報奨金制度を設

けている。改善点などあれば検討し、住民みんなで除雪するような方向で雪対策できれば良い。

その他の質問
・新型コロナウイルス接種について



雪捨て場となっている楯岡向原緑地公園 (R3.2.18 撮影)



中里 芳之

小学校の在り方検討に子どもの意見尊重を

答弁 アンケートで意見を吸い上げた

Q 学校統廃合は子どもの権利条約に基づいて対応していく必要がある。「小学校の在り方検討委員会」は、「子どもの最善の利益」や「子どもの意見の尊重」を考慮したのか。

A 条約の原則には賛成だが、問題にもよる。今回はアンケートで親と子が話す機会を大事にした。

Q 「子どもの意見を尊重」したことはならない。「最善の利益」も「教育する側」から見たものにすぎない。子どもからの意見の聞き取りなどを行うべきではないか。

A 混乱するのでできない。
Q WHOは世界各地の研究・論文を分析し、「教育機関は小さくなくてはならない」、「生徒100人を

上回らない規模」としている。検討委員会はこうした研究報告や世界の流れを参考にしたのか。

A 100人以下というのは1学年16、17人。これが続くならいいが、問題はさらに減っていくことだ。

Q 葉山中学校区で統合した場合、100人以下となるのは24年後。楯岡中学校区の場合も24年後でも340人であり、「子どもの最善の利益」を考えると、楯岡中

学校区



改築された楯岡小学校

学校区での統合はありえない。

その他の質問
・生活保護制度について
・国保税の子どもの均等割廃止について

一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



矢萩 浩次

コロナ対策の評価と今後の対応は

答弁 対策の成果が出ている、
出た時の対応が大事

Q まだまだ低迷が続く業界への、更なる経済支援策は。

A 緊急経済支援は全業種へ拡大、雇用調整助成金申請支援も継続し、新しい生活様式への取り組みには重点的に支援する。今こそ地元！応援商品券第2弾・お宿でゆったりプレミアム券第3弾を実施し、市民生活下支えと消費喚起をはかる。

Q 今後は給付に加え、コロナ後の新たな取り組みや事業展開を促す支援策にウエイトをおいてはどうか。

A 方向は理解できる。検討する。

Q ワクチン接種の日程や会場は選択できるか、またかかりつけ医師に個別接種を受けることはできるか。

A 日程・会場は必ず本人の予約が必要



大雪により被害を受けたさくらんぼ畑

となる。集団接種で実施するが、事前にかかりつけ医と相談するなど安心な対応をとるよう医師会と調整している。

Q 今冬の豪雪による農作物と農業用施設への被害状況とその対応は。

A 被害数値の把握に努め、農家の復旧意欲を促すよう早期に支援を打ち出した。被災施設の復旧、被災園地の復旧、早期の営農再開支援がある。

Q 離農や耕作放棄に繋がらない支援を望む。



田中 正信

若者の地元定着への具体的な対策は

答弁 最重要課題であり、前向きに検討する

Q 「村山市若者定着促進会議」を組織してはどうか。

A メンバーは、産業・労働・教育界、更に若い男性・若い女性の代表で構成し、問題点を検討し、改善に向け取り組んではどうか。

Q 若者の定住促進は、極めて重要な施策であり前向きに検討したい。

Q 地元就職者に「定住促進奨励金」を支給してはどうか。対象者は、学卒新規就業者と35歳未満の転入者とする。

A 県の支援制度なども考慮し検討したい。

Q コロナ禍で離職し、困っている女性を、行政機関が率先し雇用してはどうか。

A 一部実行しているが検討したい。

Q 女性が活躍する職場を表彰してはどうか。

A 検討したい。

Q 村山の良さを再認識し、回帰志向を促進するため、「村山へかえろうポスター展」を開催してはどうか。また、意見交換や情報共有ができる「会員制交流サイト」を創設してはどうか。

A 検討したい。

Q 広報部門を一元化し、総合的な「広報戦略」を構築すべきでないか。

A 検討したい。



若者の働く職場の確保に向けた企業と市企業支援コーディネータによる相談会



小山 大地

農業委員選考に

客観的指標を用いない理由は

答弁 さまざまな統計がある中での一つの基準だ

一つの基準だ

Q 今年度の災害で、多くの農家が被害を受けた。国や県の農作物等災害対策事業は、農業経営者を対象とする。営農耕作面積70a以上の方が営農継続を希望した場合、支援の対象となるか。

A 県で定める要件の中に、耕地面積と年間の販売金額がある。面積については30a以上、販売金額については50万円以上となっており、どちらか一方を満たすことが条件となっている。

Q 災害対策事業などの事業では、耕作面積70a以上の方を農業経営者とする。しかし、農業委員会委員の選考においては、農業経営者の基準を「村山市の実態に即して」とし、客観的指標を用いない。その理由は。

A 客観的という言葉はいい言葉だが、面積30a以上の方を農業経営者とするのは、さまざまな統計がある中での一つの基準であり、それだけで客観的とは言えない。議場では、村山市のために、もっと前に進む話をするべきだと考える。

Q もし、基準などが間違っていたのであれば、しっかりと誤りを認め、見直しをかけることこそが、将来に向け村山市が前に進むためには必要である。その他の質問

・山形連携中枢都市圏について

■農業経営体分類関係

用語	定義
農業経営体	農産物の生産を行うかまたは委託を受けて農作業を行い、(1)経営耕地面積が30a以上、(2)農作物の作付面積または栽培面積、家畜の飼養頭羽数または出荷羽数等、一定の外形基準以上の規模(露地野菜15a、施設野菜350㎡、搾乳牛1頭等)、(3)農作業の委託を実施、のいずれかに該当する者(1990～2000年センサスでは、販売農家、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体を合わせた者に相当する)

■農家世帯員の農業労働力関係

- 1) 基幹的農業従事者：自営農業に主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち、ふだんの主な状態が「主に仕事(農業)」である者
- 2) 農業就業人口：自営農業のみに従事した者または自営農業以外の仕事に従事しているも年間労働日数で自営農業が多い者
- 3) 農業従事者：15歳以上の世帯員で年間1日以上自営農業に従事した者



農業センサス(農林水産省が公表)における「農業経営体の定義」

令和2年度 政務活動費収支報告

会派名	交付額(円)	執行額(円)	残額(円)
市政・公明クラブ(9人)	1,080,000	0	1,080,000
改革クラブ(5人)	600,000	0	600,000
日本共産党村山市議団(1人)	120,000	97,690	22,310
無会派・小山大地議員(1人)	120,000	120,000	0
合計	1,920,000	217,690	1,702,310

※市政・公明クラブと改革クラブは、コロナ対策に充当していただくため全額を、日本共産党村山市議団は、一部を返納しました。

☆政務活動費とは…

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として会派に対し交付されます。本市では「村山市政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人当たり月額10,000円を交付しています。収支報告書には、領収書等を添付し、残余額は市に返還しています。

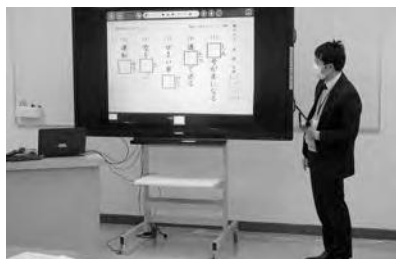
市ホームページで領収書等を公開しております。

総務文教常任委員会
管内視察 2月12日

北村山視聴覚センター

GIGAスクール構想によって令和3年度から導入されるタブレット端末（1人1台）の活用と、デジタル教科書・電子黒板の各種機能などの研修を受けました。

タブレットでは、学校の休校を想定した出欠確認や、宿題の提出およびクラス内の多数決をとることが可能となります。デジタル教科書では、ペンで画面にメモを書き込むことができるなど、様々な操作方法をご指導いただきました。



GIGA スクール構想を体験

産業厚生常任委員会
管内視察 2月18日

除雪関係

今冬は大雪に見舞われ、農業施設などに甚大な被害がありました。心よりお見舞い申し上げます。当委員会では、次の豪雪被害現場を視察しました。

農業用施設・果樹樹体

サクランボ雨よけパイプ倒壊および樹体被害（大高根 境ノ目、戸沢 共栄、西郷 八反）



豪雪により被害を受けた連棟ハウス（八反）

農道除雪の状況
（西郷 八反農道除雪組合）

- ① 金谷運動広場
- ② 基点イベント広場

③ 楯岡向原緑地公園
視察結果を関係機関に申し入れるとともに、支援制度の周知にも取り組んで参ります。

広域斎場事務組合
議会 2月24日

定例会が河北町議場で開催されました。議案は、監査委員の選任と令和3年度組合会計予算についての2件です。

監査委員の選任は、真木吉雄氏を再任し、予算は総額6628万円とするものです。そのうち村山市の負担金は1837万円（前年度当初予算比113万円の減）となります。採決の結果、全会一致で可決しました。

共立衛生処理組合
議会 2月25日

定例会が東根市議場で開催され、1件の専決処分承認、令和2年度補正予算および令和3年度一般会計予算の2議案を原案の通り可決し、閉会しました。

和3年度一般会計予算の2議案を原案の通り可決し、閉会しました。令和3年度一般会計予算の総額は、31億1323万円で、前年度比7億4237万円増となりました。増額の主な要因は、ごみ焼却処理施設延命化工事の実施費用です。

重点事業は、施設整備総合計画に基づく施設の延命化と適切な運営管理、リサイクルセンターの運営と活用、最終処分場の管理などとなります。

北村山広域行政事務組合議会 3月22日

定例会が村山市議場において開催され、令和3年度一般会計予算9733万円と各市町負担金の2議案を原案の通り可決し、閉会しました。

各市町の負担総額は、8688万円で、そのうち村山市の負担金は、2663万円となりました。

審議結果報告

（3月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました）

議員名	議決結果	市政・公明クラブ							改革クラブ				無党派		賛成	反対			
		吉田 創	細矢 清隆	田中 正信	矢萩 浩次	高橋菜穂子	秋葉 新一	海老名幸司	石澤 祐一	大山 正弘	高橋 卯任	阿部 正任	犬飼 司	結城 正			菊池 貞好	小山 大地	中里 芳之
市長提出議案	第13号 令和3年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	14	1
	第18号 村山市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	14	1
	第19号 村山市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	14	1

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

☐ = 可決 ☐ = 否決 ○ = 賛成 × = 反対 欠 = 欠席 退 = 退席 議 = 議長 裁 = 裁決

議会活動

■1月

- 7日 議会運営委員会協議会
議会運営委員会
- 12日 議会だより編集委員会
- 15日 議会だより編集委員会
- 18日 議会運営委員会協議会
- 20日 議会だより編集委員会
- 21日 全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 会派代表者会議
- 28日 全員協議会
本会議

■2月

- 9日 広域斎場事務組合議会運営委員会
- 10日 タブレット導入検討部会
- 11日 市スポーツ協会表彰式
- 12日 総務文教常任委員会協議会・管内視察
産業厚生常任委員会協議会
- 15日 共立衛生処理組合議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会
会派代表者会議
- 18日 産業厚生常任委員会管内視察
- 19日 全員協議会
- 24日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
広域斎場事務組合議会全員協議会・定例会
- 25日 共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会

■3月

- 2日 全員協議会
本会議
- 4日 一般質問
- 5日 一般質問
- 8日 一般質問
- 10日 予算特別委員会
- 11日 常任委員会・予算分科会
- 12日 常任委員会・予算分科会
農事組合法人と久楽ライスセンター竣工式
- 15日 常任委員会・予算分科会
- 17日 北村山広域行政事務組合議会運営委員会
常任委員長会・予算分科会委員長会
議会運営委員会
北村山公立病院組合議会運営委員会
- 19日 全員協議会
予算特別委員会
本会議
- 22日 北村山広域行政事務組合議会全員協議会・定例会
- 26日 議会だより編集委員会
北村山公立病院組合議会全員協議会・定例会
- 29日 タブレット導入検討部会

8月前まで減少していた患者数は、新型コロナ

**北村山公立病院組
合議会**
3月26日

した。
今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、休館や事業の縮小などがありました。が、対策を行いながら、移動学習などは例年通り実施できました。
来年度は、視聴覚センターの土曜日一般公開を再開するなど、研修機能の充実を図っていく予定です。

外来エリアの改修工事が1月で完了し、新

年度予算です。
新型コロナウイルスワクチン接種は当病院では行わないものの、医師や看護師の派遣など、接種事業には可能な限り協力していく予定とのことです。

コロナウイルス感染症第三波による影響もありますが、今冬の豪雪被害により、1月は昨年を大きく上回る患者数となりました。大変予測の難しい状況にありますが、現在の状況が続く見込みでの令和3年度予算です。

「オンライン研修会」を行いました。長野県小諸

深刻化する新型コロナウイルス感染症にあつて、行財政運営が厳しさを増す一方で、地方自治体を取り組むべき課題は日々多様化・高度化しております。そのような中で「オンライン研修会」を行

型コロナウイルス感染症対策も施されて明るくきれいな外来となりました。
**市政・公明クラブ
オンライン研修会**
3月24日



オンライン研修会の様子

①感染症による意識・市長、茨城県取手市議会議長が講師を務め、「アフターコロナ時代の地方創生を考える」と題し、次の2つについて研修を行いました。

行動変容を踏まえた、ひと・しごとの流れの創出
②自治体、市議会の具体的な取り組み
研修内容は、今後の活動に反映し取り組んで参ります。

**議会だより
編集委員会**
高橋菜穂子議員は産休から復帰し、委員を交替しました。
議会だより
編集委員会
高橋菜穂子

議会のインターネット中継をやっています

- ◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。会議の予定はホームページなどでお知らせしますので、ぜひインターネット中継をご活用ください。
- ◎インターネット中継配信中 詳しくは、
<https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html>
村山市議会→議会中継
(ライブ中継・録画中継・外部リンクより)



↑携帯からは
コチラ



～地元農業をどうすっぺ～

大倉地区水田再整備事業が、いよいよ令和4年から始まります。ここまでこれたのも市行政はじめ地元の方々のご理解の賜物であり、心より感謝申し上げます。そして、去年大倉地区に3つ目の棚田大倉が設立され、組合員一同これからの活動に大いに期待しております。

大倉地区の未整理地は現在100haほどあり、耕作放棄地と荒廃農地が年々増加し続け、その結果、猪と猿による農作物への被害も増え、荒廃農地の増大に拍車をかけています。全国の荒廃農地面積は、平成26年に27万6,000haあります。そのうち再生利用可能な農地が約半分の13万2,000ha、そして耕作放棄地の面積は年々増加し、平成27年には42万3,000haとなっています。

もはや、農業関係者だけで解決できる問題ではないと思います。

地区民全体で関わりを持ち、農業に興味のある地区外の方々とともに、元の豊かな里山に戻していきたいと思っています。そうでないと、ご先祖に顔向けできないでしょう。



板垣 厚志 さん
(大倉)



荒廃農地の草刈り作業



みんなで一服中

〈表紙写真〉

3月27日、アートチャイルドケア村山しょうよう保育園にて卒園式が開催されました。卒園生たちは、コロナ禍で大変な1年を全力で走り抜け、それぞれのステージへと笑顔で羽ばたいていきます。

◎アートチャイルドケア村山しょうよう保育園

園長：山下真理子 ☎(22-9481)

子どもの全人格を尊重し、子どもたちが本来持っている「生きる力」を育み、何を学ぶかよりも、どう学ぶかを考えられる子どもを育てることを理念に保育を行っています。今後も地域の皆様にご協力をいただきながら、地域に根差した保育園運営に努めてまいります。

【園児数】(4月1日現在) ……計88名 (定員100名)

0～2歳児：35名 3歳～5歳児：53名



お別れの歌をみんなで合唱

あとがき

新型コロナウイルスワクチン接種が開始されましたが、いまだに予断を許さない状況です。感染症予防対策を徹底し、健やかに過ごしてください。

産休中であつた高橋菜穂子委員が復帰し、細矢清隆委員と交替となりました。これからもよろしくお願ひします。(小山)

委員長 石澤 祐一
副委員長 犬飼 司
委員 高橋 菜穂子
阿部 正任
高橋 卯任
吉田 創
小山大地

